

メイン電子マネーを使いやすさで変えていく利用者も

——電子マネーに関するアンケート調査から

SuicaやPASMOといった交通系からnanacoなどの流通系まで、ここ数年で種類も使える場所も広がり、ますます便利になった電子マネー。では、日常生活のなかで、電子マネーは実際のどの程度利用されているのでしょうか。

NRIが今年6月に実施した電子マネーに関するアンケート調

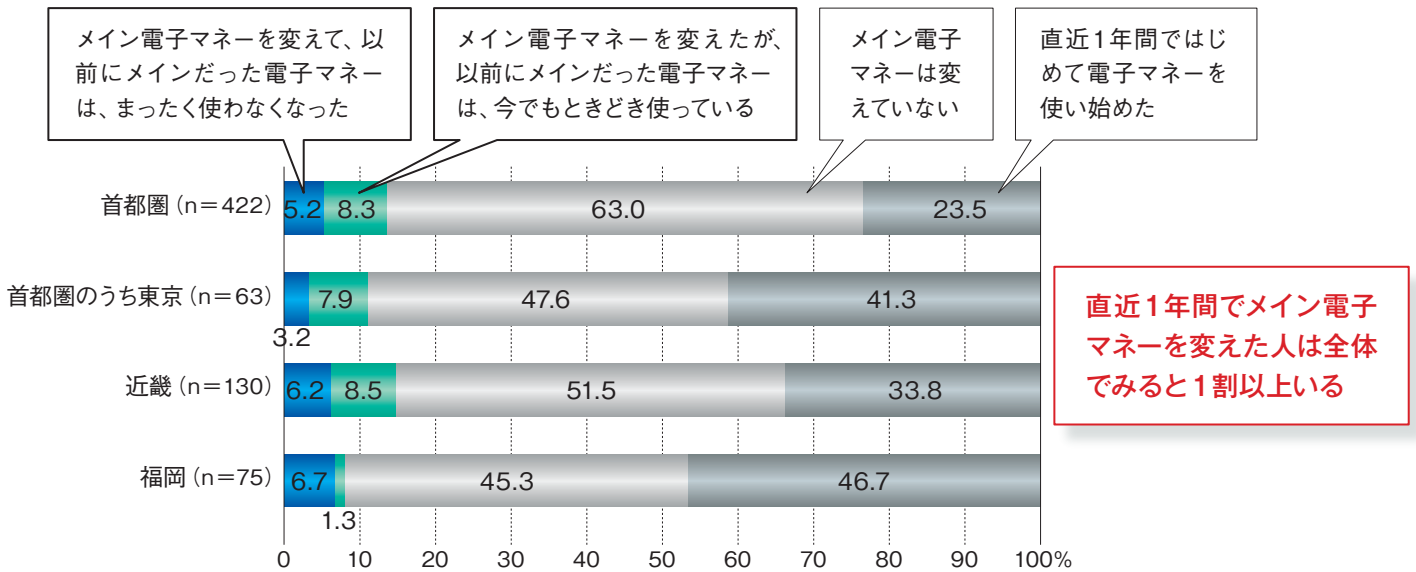
査によると、買物など（電車などの交通費を除く）に最も利用する「メイン電子マネー」の月間利用金額は前年の4,340円から5,565円に増加しており、利用回数も毎月約5回から約7回に増えています。

電子マネー保有者は、平均すると一人当たり2.1枚の電子マネーを持っています。そのう

ち、この1年以内でメイン電子マネーを変えた人は10%を超え、なかには、以前利用していた電子マネーをまったく使わなくなった人もいます。

また、電子マネーの普及に伴い、電子マネーを対象とした法規制についても、利用者の関心が高まりつつあることがうかがえます。

直近1年間のメイン電子マネーの変更状況



電子マネーの法規制への考え方 (n=2,000)

